

PRESS RELEASE
2023.3.31

コレクション ing4 野見山暁治の見た 100 年

作品収集が現在進行形である、という意味を込めた「久留米市美術館のコレクション ing」展。第 4 弾となる今回は、現在の飯塚市に生まれ、100 歳を超えてもなお制作活動を続ける画家・野見山暁治を中心に取り上げます。

1920 年に生まれた野見山は、1938 年に東京美術学校へ入学し、第二次世界大戦のため繰り上げ卒業。終戦後は福岡や東京を拠点に活躍し、1952 年から念願のヨーロッパに渡り 12 年間滞欧。帰国後は東京藝術大学で教鞭を執りました。

本展は、2021 年度に氏から寄贈された 8 点を含む野見山暁治作品を軸に構成。他館ご所蔵作品を加えた約 90 点の関連作家作品で、野見山が見つめてきた 100 年にわたる日本洋画の展開をたどります。

展覧会名	コレクション ing4 野見山暁治の見た 100 年
会期	2023 年 4 月 22 日 (土) -2023 年 6 月 4 日 (日)
出品点数	約 90 点
会場	久留米市美術館 (本館 2 階)
主催	久留米市美術館、RKB 毎日放送
後援	久留米市教育委員会
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー
入館料	一般 700 円 (500 円) シニア 400 円 (200 円) 大学生 400 円 (200 円) 高校生以下無料 ※障害者の方は手帳のご提示で、ご本人と介護者 1 名は無料。 () 内は 15 名以上の団体料金、シニアは 65 歳以上。 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
休館日	月曜日
開館時間	10:00-17:00 (入館は 16:30 まで) 5/13 (土) は 19:30 まで延長開館 (入館は 19:00 まで)
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で 20 分、快速で 40 分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で 30 分、急行で 40 分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当: 森 智志 広報担当: 佐々木奈美子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015 (石橋文化センター内) TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

見どころ

新収蔵作品のお披露目

このたび寄贈された野見山暁治作品 8 点のほか、坂本繁二郎や荒井龍男、香月泰男や尾花成春など、新たに久留米市美術館のコレクションに加わった作品をご紹介します。



①坂本繁二郎《能面》
1954年 久留米市美術館



②野見山暁治《朝の景色》
1981年 久留米市美術館



③野見山暁治《顔》
1975年 久留米市美術館

野見山の画業に沿った展示構成

本展は、東京美術学校に通っていた頃や滞欧期、東京藝術大学での教員時代とその後など、野見山の画業に大きな変化を及ぼした節目で時代を区切った 5 つの章立てによって構成します。



④野見山暁治《冬枯れ》
1963年頃 久留米市美術館



⑤野見山暁治《蔵王》
1966年 福岡県立美術館



⑥野見山暁治《これだけの一日》
2006年 久留米市美術館

関わりのあった画家、同時代の作家

藤島武二や岡田三郎助、今西中通や田淵安一など、野見山が 100 年の間で出会った人々や同時代の画家たちの作品を、野見山との交流のエピソードを交えながら紹介します。



⑦香月泰男《頭骨》
1949年
久留米市美術館



⑧藤島武二《日月潭》
1935年 久留米市美術館



⑨野見山暁治《卓上髑髏》
1947年 久留米市美術館



⑩岡田三郎助《水浴の前》
1916年
石橋財団アーティゾン美術館

PRESS RELEASE

2023.3.31

関連イベント

コレクションミニレクチャー

当館所蔵作品の中から野見山暁治とかかわりの深い作家や作品を、野見山の留学前後2回に分けて紹介します。

① 留学前編

開催日：5月13日（土）

話し手：佐々木奈美子（当館学芸員）

② 留学後編

開催日：5月27日（土）

話し手：森智志（当館学芸員）

時間：いずれも 14:00-15:00

定員：各 50 名（先着順）／入場無料／全席自由

会場：美術館 1 階多目的ルーム 1

サポートボランティアによるギャラリートーク

開催日：4月29日（土）、5月6日（土）、5月20日（土）、6月3日（土）

時間：いずれも 14:00 から（20分程度）

申込不要、参加無料、要本展覧会チケット

集合場所：美術館 2 階エントランス

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. Web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
7. 掲載見本を必ず1部お送りください。